

指導者育成、次の段階へ

JICA 計画作成を支援
草の根事業



トレーナー育成研修を受ける研修生

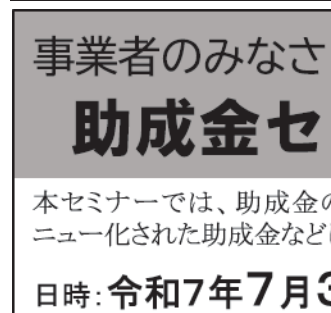
JICAから受託している「ベトナム国水産都市ダナンをけん引する人材育成プロジェクト」では、ダナン市における漁

獲から販売までの水産バリューチェーンを構成する各段階の指導者（「トレーナー」を育成し、継続可能な教育体制の構築を目指す事業を行っている。これまでの活動では、釧路での研修を含め、鮮度保持、加工、水産業を支える工業技術、市場ニーズの把握など幅広い分野の講義や演習を実施してきたほか、それらを動画として記録しオンライン上で利用できるeラーニング教材の整備を進めてきた。

今回の渡航では、6月16日（月）から21日（土）に当所と釧路工業技術センターの職員がダナン市を訪れ、現地の受け入れ機関である農業資源環境省との事業運営会議、トレーナー育成研修などを行った。

事業運営会議では、事業の進捗や今後の展開を協議したほか、隣接するクアンナム省との合併に伴う行政組織の再編など取り巻く状況の変化について情報共有を図った。翌日には、ダナン市が管理するトクアン漁港を訪問。2017年に同事業で導入した海水電解殺菌装置の現況を調査した。

また、今回からトレーナー育成研修として人材育成計画の作成支援を開始。研修生はeラーニングシステムを活用し、各人が研修対象や目的に沿って自由に教材動画を組み合わせて実施できる人材育成プログラムの試行準備を実施した。



6月30日に開催した総会

事業者のみなさまへ 助成金セミナーのご案内

本セミナーでは、助成金の基本や活用のポイント、今年度新たにメニュー化された助成金などについて解説します。

日時: 令和7年7月31日(木)13:30~15:30

受講方法: 《リアル》道東経済センタービル5階 会議室 《オンライン》ZOOM ※オンライン参加の方には、登録のメールアドレスへ後日入室情報をお送りします

定員: 40名(先着順)
講師: 助成金制度推進センター 理事 白石 健吾 氏
内容: ・補助金と助成金についての正しい知識
・当たり前に活用されている助成金の紹介
・2025年4月以降に発表された新しい助成金の紹介

今年度新設された助成金

- ①生産性向上・賃上げの支援
- ②正規・非正規の格差是正への支援
- ③仕事と家庭の両立支援 など

お問合せ: 振興課0154-41-4143

詳細・申込はこちら



関係機関に要望書を手交した全道大会

本大会は毎年、商工会議所が所在する各地域で一所が地域総合経済団体として中小企業の抱える課題や、地域の懸案事項解決に向けて意見を集約し、関係機関に対する要望内容を決議するもの。

5日（土）に北見芸術文化ホールで行われた大会には、北海道経済産業局長、三橋副知事、辻直孝北見市長、日本商工会議所の島山一成常務理事より祝辞が述べられた。

議事では、景気・経済対策の実行や人手不足への対応、中小企業・小規模事業者の事業活動を支える環境整備、社会経済活動の基盤となるインフラ整備など10件の議案と3件の特別提案について各地会議所の会頭より説明が行われ、全会一致で承認された。

当所水産部会（笹谷智貴部会長）が担当する議員例会を3日（木）正午より道東経済センタービルにて開催し、役員議員ら約40人が参加した。

今回は、（一社）北海道水産会の山口修司代表理事副会長を講師に招き「水産養殖事業の現状と今後・事業化・商業化に向けて」をテーマに講演を行った。

冒頭、山口氏は北海道の漁業生産が過去70年間で大きく減少している現状と、海水温の上昇により釧路でも多く獲れていたサバやイワシ、サンマなどが減る一方、ブリやフグなど道民になじみの薄い魚種が増加していることを説明した。

続いて、道内における海中養殖事業の現状について、病気に強く成長の良いトラウトサーモンが主流になっていると解説。課題としては、大規模化へのハードルや種苗の安定確保、さらにはコスト抑制、差別化のための高付加価値化などを指摘し「特に種苗生産にかかる設備・餌代が経費の4分の3を占めており、コスト削減が大きな課題と話した。

こうした中、八雲町のトラウトサーモン養殖を成功事例の一つとして紹介。町の主導で開始後、経験豊富な研究者との協働により種苗の安定供給に成功し、今年度から民間による自立した種苗生産ができていると解説した。このほか、浜中町のウニや余市町のムール貝養殖や白糠町のホタテガイ増殖など、地域特性を活かした多様な事業についても触れた。

最後に山口氏は「港があり、資源にも恵まれている釧路においては、まだサーモンに特化した将来的にはウニやムール貝など多角的な養殖事業を展開しては」と提案した。

制度の利用には、商工会議所へ経営相談した上で推薦を受ける必要があります。融資限度額2000万円（1日現在利率1・8％）で、返済期間は10年以内（うち据置期間2年以内）です。詳しい融資条件などは、地域振興部0154（41）4143までお問い合わせください。

第73回全道商工会議所大会が4日（金）、5日（土）に北見市で開催され、全道各地から約420人が集結した。議事では、北海道の持続的な発展を図るために提案された議案10件と特別提案3件を承認し、国や北海道に要望していくことが決議された。

地域課題の解決へ決議

全道商工
会議所大会 北見市で開催

声を届ける必要がある」とと商工会議所の意義を強調した。

加えて「企業の挑戦を支え、次世代への橋渡しを担う存在として皆様とともに力を尽くしていきたい」と述べ、各地会議所に対して引き続き支援と協力を求めた。

その後、岩田会頭より北海道開発局、経済産業局、北海道「要望書を手交し、一層の協力を求めた。

『0から1をつくる』故郷から世界へへの挑戦』と題して特別講演が行われた。

「Oから1をつくる」故郷から世界へへの挑戦』と題して特別講演が行われた。

相談は無料で事前予約制です。お申し込みは、地域振興部0154（41）4143まで。

小規模事業者の皆さまへ マル経資金のご案内 マル経資金は、小規模事業者の経営改善に必要な資金を、日本政策金融公庫が無担保・無保証人、低金利で融資する制度です。

制度の利用には、商工会議所へ経営相談した上で推薦を受ける必要があります。

ひがし北海道最大級のビアガーデン

Cool KUSHIRO

HERE GARDEN

くしろビアガーデン 2025

入場 無料

期間 8/16 SAT - 9/6 SAT (日曜除く)

時間 17:00 - 20:00 ラストオーダー19:45

場所 めざまい広場(釧路リバーサイドエリア)

開催に関する情報は、当所青年部ホームページにて随時更新します♪

【お問合せ】 釧路たの・うま・ベイフェスティバル〜釧路ビアガーデン協議会〜 (実行委員会/当所青年部) 0154-41-4143

ご案内コーナー

事業承継・引継ぎ支援センターへご相談を

北海道事業承継・引継ぎ支援センターは、北海道経済産業局から委託を受けて開設している公的機関で、事業承継にお悩みの経営者、後継者に寄り添って公平中立な立場でお手伝いしています。

親族内での承継、従業員・役員への承継、第三者承継（M&A）に関する相談に専門家がワンストップで支援します。

当所に設けられている釧路サテライトでは、エリアコーディネーターや

COOL STAY 釧路 クールステイ くしろ

YouTube動画 視聴回数 おかげさまで 13万回突破!!

※7月14日現在139,081回

動画は はこちらから!

あなたとわたしの心も クールダウンしてくれる



第1389号
釧路商工会議所
釧路市大町1丁目1番1
電話代表41-4141
編集兼発行人 川村 修一
印刷 釧路新聞社